



裁判官 判決を言い渡します。

コラム 裁判員制度とは？

裁判員制度とは、重大な犯罪についての刑事裁判には裁判官だけでなく、国民のみなさんから選ばれた裁判員も参加してもらい、被告人が有罪か無罪か、有罪の場合どんな刑罰にするのかを決める制度のことです。裁判員は20歳以上（※令和5年1月1日以降は18歳以上）で選挙権のある方から抽選で選ばれるので、将来みなさんも裁判員に選ばれて裁判官と一緒に刑事裁判に参加することがあるかもしれません。

(有罪の場合)

主文

被告人を罰金20万円に処する。

(無罪の場合)

主文

被告人は無罪。

★判決のポイント★

信号無視をしたのがAさんかどうかで結論が変わるので、目撃者のCさんの話をよく聞く必要があるね。

Aさんの運転の危なさなどによって、刑罰の重さが変わってくるよ。

刑罰には刑務所に入るもの（懲役、禁錮）か罰金を支払うものがあるよ。

懲役・・・刑務所に入れ、作業を行わせる刑罰

禁錮・・・刑務所に入れる刑罰

罰金・・・お金を納めさせる刑罰



和歌山地方裁判所 刑事部 小坂茂之 裁判官

民事裁判と刑事裁判の違いは分かったかな？ 法廷で行われている裁判は誰でも見ることができるよ！興味があればみにきてね。



裁判官 判決を言い渡します。

(請求が認められる場合)

主文

被告は原告に対して100万円を支払え。※

(請求が認められない場合)

主文

原告の請求を棄却する。

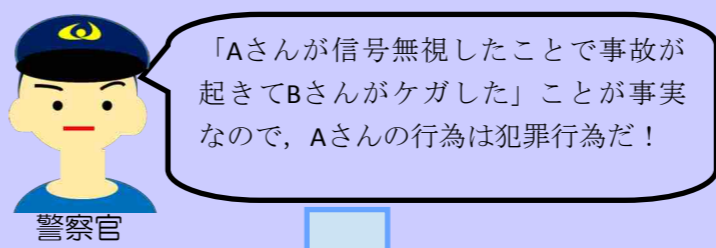
★判決のポイント★

Aさんが信号無視をしていれば、Bさんに賠償を払わないといけないね。

ケガの治療費や自転車の修理代、仕事を休んだ損失、慰謝料などを支払うことになるよ。



自転車での事故で被害者が亡くなったり、重い後遺症が残ったりしたら、多額の賠償（億近くになる場合も・・・）を払わないといけない。自転車に乗る時は、イヤホンで音楽を聞いたり、スマホを操作したりしないで、交通ルールを守って十分気を付けましょう！



「Aさんが信号無視したことで事故が起きてBさんがケガした」ことが事実なので、Aさんの行為は犯罪行為だ！

警察官から事件を引継いだ検察官は裁判をおこしました。

どんな行為が犯罪になるのか、犯罪を犯した人にとってどんな刑罰を与えるのかを決めている法律を刑法といいます。本当に犯罪を犯したのか、犯したとしてどんな刑罰を下すのかを証拠に基づいて判断する手続きを刑事裁判といいます。

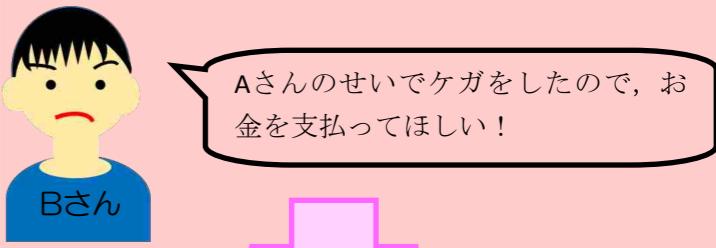


下の2つのことについて考えてみよう！ Aさんは警察の取り調べで信号無視はしていないと言っていますが・・・ 裁判所は何がホントかを決めないといけません。

Aさんは「有罪」でしょうか、それとも「無罪」でしょうか？どのようなことが決め手になりそうかな？

Aさんが有罪の場合はどういう刑罰を受けることになりそうかな？

(考えたこと)



Aさんのせいでケガをしたので、お金を支払ってほしい！

BさんはAさんに対して裁判を起こしました。

お金や物の貸し借りのルール、人と人の約束事のルール、人や物を傷つけてしまったときの責任の取り方、家族についてのルールなど私たちの身の回りのルールを決めている法律を民法といいます。私たちの日常生活に起こる様々なトラブルを解決するための手続きを民事裁判といいます。

Bさんは事故にあったことでどういう損害を受けているかな？

それについてAさんはどういう責任をとることになりそうかな？

(考えたこと)



実際にどのように裁判は始まって終わっていくのかみていこう！